

三菱UFJフィナンシャル・グループ 株主の皆さまへ

第6期中間期(平成22年4月1日～平成22年9月30日)



Quality for You 

MUFG



株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

私から、平成22年度中間期の業績およびグループの現況などをご説明いたします。

平成22年度中間期の業績

平成22年度中間期の連結純利益は、連結業務純益の増加と与信関係費用の改善を主因に、前中間期比2,158億円増加の3,567億円となりました。連結業務純益では、市場関連収益の大幅な増加や全社的な経費削減努力により預金の減収を補い、前中間期比1,000億円増加の8,518億円を計上することができました。また、企業倒産の減少を背景に、与信関係費用も大幅に改善しました。

貸出は、資金需要の低迷により国内法人貸出が減少したことなどから平成21年度末比減少しました。預金も、国内法人預金の減少を主因に全体では減少しましたが、個人預金は引き続き堅調に伸びております。

財務健全性の観点では、連結自己資本比率は15.24%、中核的な自己資本の割合を示すTier1比率についても利益の積み上げなどにより11.57%と平成21年度末比改善しました。また、不良債権比率も1.69%と引き続き低水準にとどまっております。

普通株式の配当につきましては、中間配当は期初予想どおり6円といたしました。また、期末配当は6円、年間配当は12円を予想しております。

中期経営計画への取り組み

平成22年度上期は、平成21年4月にスタートさせた3ヵ年中期経営計画の前半の締めくくりの期として、主要経営課題として掲げた経費削減や人員の再配置、保有株式の削減など経営基盤の再構築を進めるとともに、成長戦略の土台づくりを着実に行ってまいりました。

海外では、高成長の続くアジアで資本基盤の増強や拠点網の一層の拡充を図るとともに、北米でユニオンバンクとの連携を強化し、成長に向けた態勢を整備しました。国内では、モルガン・スタンレーとの戦略的提携の一環として共同出資による証券会社を設立しました。

平成22年度下期は、中期経営計画の達成に向けた「要」の期として、「守りから攻めへのギアチェンジ」を行い、成長戦略を加速してまいります。足元の外部環境は、国内外の景気減速懸念や改正貸金業法完全施行の影響など、依然不透明な状況が続いておりますが、これらの動向を見極めつつも、前半で再構築した経営基盤を礎に持続的な成長の実現をめざしてまいります。グループ内の連携をさらに強化し、お客さまのニーズにお応えする商品・サービスのご提供に努めるとともに、アジア・北米などの海外業務やモルガン・スタンレーとの戦略的提携、プロジェクト・ファイナンス業務などの重点事業領域には積極的に資源を投入していきます。

また、新しい自己資本比率規制(バーゼルⅢ)のもとでも十分な資本を確保すべく、一段の収益力強化による内部留保の蓄積と効率的な資本運営を実施し、さらに強固な財務基盤の構築をめざしてまいります。

MUFGグループは、信頼と信用の拠り所としての「強さ」と「品格」をモットーに、グローバルベースでも名誉ある地位を占める総合金融グループをめざし、役職員一同、力を合わせて努力してまいります。株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年12月

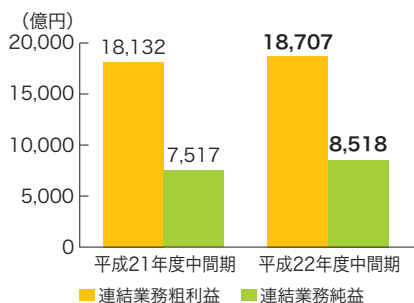
株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ
取締役社長

永易克典

決算のポイント

- 連結中間純利益は、業務粗利益の増加に加え、営業費の減少および与信関係費用の改善などから、前年同期比2,158億円増益の3,567億円
- 貸出金は、国内法人貸出が減少したことなどから平成21年度末比5.6兆円減少。預金は、個人預金が増加した一方、国内法人預金が増加したことなどから全体では平成21年度末比1.6兆円減少
- 連結自己資本比率は、平成21年度末比0.37ポイント上昇の15.24%

連結業務粗利益・連結業務純益



損益の状況

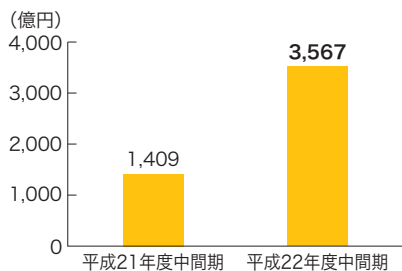
連結業務粗利益は、市場金利の低下や貸出金の減少に伴い資金利益が減少しましたが、債券売却損益など市場関連収益が大幅に増加したことなどから、前年同期比574億円増加の1兆8,707億円となりました。

営業費は、引き続きグループを挙げて経費削減に取り組んだ結果、前年同期比426億円減少の1兆188億円となり、経費率が50%台半ばまで改善しました。

この結果、連結業務純益は前年同期比1,000億円増益の8,518億円となりました。与信関係費用総額は、企業倒産の減少を背景に、貸倒引当金繰入額が減少したことを主因に、前年同期比2,574億円減少の1,867億円と大幅に改善しました。

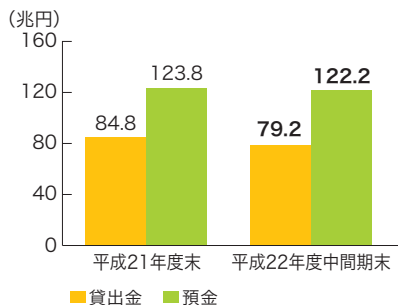
以上の結果、連結経常利益は前年同期比3,090億円増益の5,420億円、連結中間純利益は前年同期比2,158億円増益の3,567億円となりました。

連結中間純利益



(注) 業績説明に使用している計数は、各々単位未満を切り捨てて表示しています。従って、表中のある項目の計数と他の項目を加減計算した結果とが一致しないことや、説明文中の増減数値とグラフ・表中の計数を加減計算した結果とが一致しないことがあります。

貸出金・預金

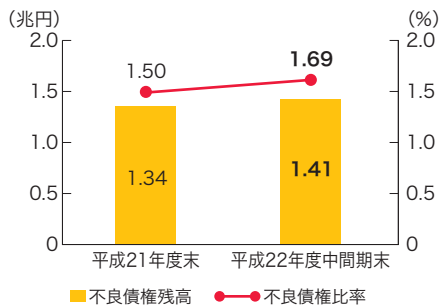


貸出金・預金の状況

貸出金は、資金需要の低迷により国内法人貸出が減少したことや為替要因を主因に海外貸出が減少したことなどから、平成21年度末比5.6兆円減少し、79.2兆円となりました。

預金は、個人預金は引き続き増加しましたが、国内法人預金が減少したことを主因に、平成21年度末比1.6兆円減少の122.2兆円となりました。

不良債権残高・比率

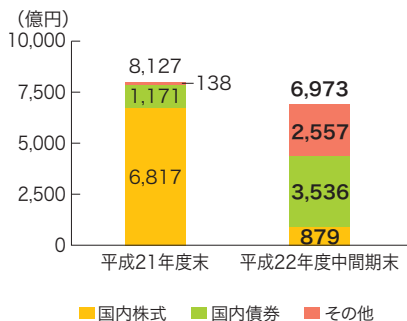


不良債権残高・比率の状況

不良債権残高*は、平成21年度末比671億円増加の1.41兆円となりました。不良債権比率*は、平成21年度末比0.19ポイント上昇の1.69%となりましたが、引き続き低水準を維持しています。

*三菱東京UFJ銀行と三菱UFJ信託銀行の2行単体合算

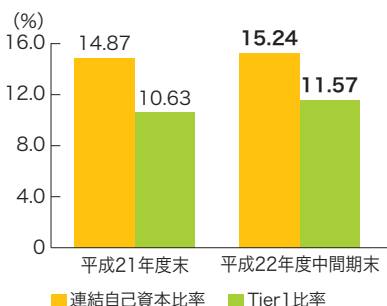
有価証券の含み損益



有価証券の含み損益の状況

有価証券の含み損益(その他有価証券評価差額)は、平成21年度末比1,153億円減少し、6,973億円の含み益となりました。株式相場の下落に伴い国内株式の評価損益は悪化しましたが、国債、外国債券の評価損益は改善しました。

連結自己資本比率・Tier1比率



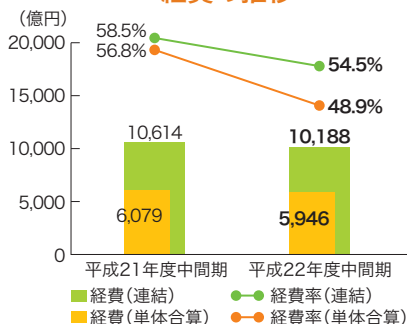
■ 連結自己資本比率・Tier1比率の状況

連結自己資本比率は、平成21年度末比0.37ポイント上昇し15.24%、Tier1比率*は0.93ポイント上昇し11.57%となりました。貸出金の減少などによるリスク・アセットの減少や利益の積み上げによる利益剰余金の増加が主な要因です。

*株主資本(資本金・剰余金など)を中心とした中核的な自己資本の、リスク・アセットに対する割合

平成22年度中間期決算に関するQ&A

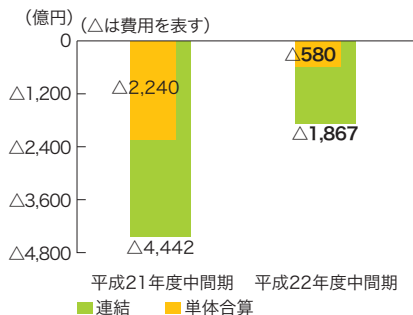
経費の推移



Q 経費(営業費)削減の状況について説明してください。

A 引き続きグループを挙げて経費削減に取り組んだ結果、経費は、三菱東京UFJ銀行と三菱UFJ信託銀行の2行単体合算で前年同期比132億円減少、連結では426億円の減少となりました。この結果、経費率もそれぞれ48.9%、54.5%と、一段と低下しました。これからも一層の経営効率化に取り組んでいきます。

与信関係費用総額の推移



Q 与信関係費用総額の改善状況について説明してください。

A 与信関係費用総額は、三菱東京UFJ銀行と三菱UFJ信託銀行の2行単体合算で前年同期比1,660億円改善の580億円となりました。国内外における大口与信費用発生額の減少や中堅中小企業の倒産減少が主な要因です。連結でも子会社のユニオンバンクなどの費用減少が加わり、前年同期比2,574億円改善の1,867億円となりました。

損益の状況(連結)

(単位：億円)

	平成21年度中間期	平成22年度中間期
連結業務粗利益(信託勘定償却前)	18,132	18,707
資金利益	11,152	10,093
信託報酬+役務取引等利益	5,456	5,247
特定取引利益+その他業務利益	1,524	3,366
営業費	10,614	10,188
連結業務純益 (一般貸倒引当金繰入前・信託勘定償却前)	7,517	8,518
臨時損益(△は費用)	△ 4,639	△ 3,422
うち与信関係費用	△ 3,894	△ 2,229
うち株式等関係損益	133	△ 273
経常利益	2,330	5,420
特別損益(△は損失)	△ 186	69
法人税等合計	425	1,848
少数株主利益	308	74
連結中間純利益	1,409	3,567
与信関係費用総額(△は費用) 与信関係費用(信託勘定)+一般貸倒引当金繰入額+与信関係費用(臨時損益内) +貸倒引当金戻入益+偶発損失引当金戻入益(与信関連)	△ 4,442	△ 1,867

資産・負債の状況(連結)

(単位：億円)

	平成21年度末	平成22年度中間期末
資産の部	2,041,069	2,063,808
うち貸出金	848,806	792,544
うち有価証券	639,644	700,531
負債の部	1,928,074	1,950,489
うち預金	1,238,919	1,222,687
純資産の部	112,994	113,319

連結自己資本比率の状況(第一基準)

(単位：億円)

	平成21年度末	平成22年度中間期末
自己資本比率	14.87%	15.24%
Tier1 比率	10.63%	11.57%
自己資本	139,917	134,216
Tier1	100,096	101,941
リスク・アセット	940,813	880,543

「上海商談会」開催

MUFGグループは、平成22年9月、企業のお客さまの海外への販路拡大を支援するため、中国上海で大規模な商談会を開催しました。

今回の商談会では、中国市場への販路拡大をめざす食品・アパレル業界などの日本企業と、香港や台湾も含む現地の大手百貨店やスーパーなど、あわせて約250社（約600名）のお客さまにご参加いただき、約370件の商談が活発に行われました。同時に、セミナー開催や相談ブースの設置を通じて、中国進出に関する法律、税務、物流面などのさまざまな情報もご提供しました。

また、平成22年7月、三菱東京UFJ銀行の中国現地法人「三菱東京UFJ銀行（中国）有限公司」が、中国の広州南沙に外国銀行としては初めて出張所を開設しました。加えて、上海地区では、同地区2拠点目となる新たな出張所開設の準備を進めるなど、同国におけるネットワークの拡充によるビジネスの拡大にも努めています。



メガバンク初、インターネット専用の医療保険販売を開始

平成22年8月、三菱東京UFJ銀行はメガバンクで初めて、インターネットのサイトを通じた医療保険の販売を開始しました。インターネット専用保険の販売は、昨年の自動車保険に続く第2弾となります。

ご自宅のパソコンから三菱東京UFJ銀行のホームページを通じて、24時間いつでも資料請求や保険料のお見積り、ご契約の手続きが行えます*。また、同行の支店でも医療保険の相談や商品内容の詳しいご案内をしています。

平成19年に銀行窓口におけるすべての保険の代理販売が解禁されて以来、三菱東京UFJ銀行は保険のご相談に力を入れています。全国約400店舗の窓口で経験豊富な保険のプロが、さまざまな保険会社のさまざまな保険商品の中から、お客さまにぴったりの商品を選ぶお手伝いをしています。

URL <http://www.bk.muftg.jp/nethoken>

*お見積り・資料請求・ご契約いただけるのは、三菱東京UFJ銀行のキャッシュカードをお持ちの方または、三菱東京UFJダイレクトをご契約されている方です。



三菱東京UFJ銀行 東京外国為替市場調査で5年連続首位

三菱東京UFJ銀行は、「ユーロマネー（日本語版）」誌が実施した第20回東京外国為替市場調査で、5年連続となる総合1位の評価をいただきました。

この調査は、企業や機関投資家のお客さま750社を対象に実施されたもので、三菱東京UFJ銀行の国内外のネットワークを活かした情報提供力や提案力、提示価格の適切さや執行力など、外国為替取引全般にかかわる総合力が評価されたものです。

15年ぶりの水準となる円高進行などを背景として、お客さまの為替変動リスクに対する関心はますます高まっています。また、新興国通貨への注目度の高まりや電子取引の普及など、外国為替ビジネスをめぐる環境も大きく変化しています。これからも東京外国為替市場におけるリーディング・バンクとして、高度化・多様化するお客さまのニーズにお応えしていきます。



ディーリングルームの様子

ペーパーレス化への取り組み

三菱東京UFJ銀行は、経営効率化と二酸化炭素の排出量削減による環境保全を目的に、ペーパーレス化の取り組みを進めています。その一環として、平成22年8月、ATMジャーナル(ATMの中にある取引記録用紙)の廃止と電子保管化、住宅ローンなどの貸付伝票の廃止と電子処理化を実現しました。

ATMジャーナルのペーパーレス化では、年間約3億円の経費とA4用紙換算で約63百万枚分の紙の削減を見込んでいます。また、貸付伝票のペーパーレス化では、年間約1.6億円の経費と約40万枚の伝票類の削減を見込んでいます。

今後も、銀行内の伝票類の削減を進めていくとともに、ダイレクトバンキングの機能を拡充し、ご希望のお客さまにはインターネットなどでの取引を拡大していただくことで、ペーパーレス化を積極的に推進していきます。



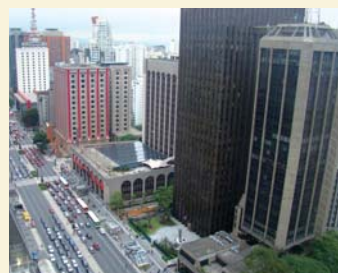
ATMジャーナル



■ ブラジル三菱東京UFJ銀行 サンパウロ本店

ブラジル サンパウロ市

ブラジル最大かつ南米最大の都市、サンパウロ市。高層ビルが林立する経済都市であるとともに、多くの劇場や博物館などがある文化都市でもあります。人口は1,100万人を超え、移民を広く受け入れてきた歴史的背景もあり人種構成も多彩です。平成20年には日本人がブラジルへの移住を始めてから100年目を迎え、ここサンパウロ市では世界最大の日系人社会が形成されています。



サンパウロ市街 パウリスタ通り

また、サッカー王国としても有名なブラジルでは、サッカーが国民の活力にもなっています。平成22年開催のワールドカップでは、ブラジル代表の試合中はすべての銀行の窓口や一般企業の受付が閉まり、皆で観戦し応援しました。平成26年にブラジルで開催されるワールドカップでは、サンパウロ市で開幕試合が予定されており、新スタジアムの建設も計画されています。

拠点紹介

ブラジル三菱東京UFJ銀行は、昭和8年に設立された歴史ある拠点で、サンパウロ市の本店のほか、リオデジャネイロ市に支店があります。現在は、派遣行員9名、現地スタッフ130名が勤務し、300社にのぼる日系企業に加え、資源関連、食料品など幅広い業種の優良な地場企業ともお取引があります。また、サンパウロ市から空路で3時間の距離にあるアマゾン地域の中心都市マナウス市にも多くの日系企業が進出しており、お取引をしています。

ブラジルは、資源・消費大国として世界の注目を集めるとともに、平成28年の夏季オリンピック開催国として大規模な公共設備投資も見込まれています。今後ますますの成長が期待されている同国で積極的にビジネスを拡大していきます。



サンパウロ本店スタッフ

🇧🇷 現地レポート 🇧🇷

移民博物館



移民の検疫所として明治21年に建設された公営施設です。昭和53年に閉鎖されるまでの間に約300万人の移民を受け入れてきました。現在では移民博物館として、移民の歴史や当時の資料が多く展示されています。また、移民者の氏名などのデータが保管されており、移民国のブラジルにとって自らのルーツを知るうえで貴重な資料館となっています。

©Images granted by Memorial do Imigrante de São Paulo

イピランガ独立公園

1822年9月7日、後のブラジル初代皇帝ドン・ペドロ1世が「独立か死か」と、ポルトガルからの独立を宣言した記念すべき公園です。園内には独立100周年を記念して建てられたドン・ペドロ1世の記念像があります。独立を果たした後、ドン・ペドロ1世はポルトガルへ戻り死去しましたが、独立150周年を機にポルトガルから遺骨が移送され記念碑内に安置されています。



レンソイス・マランニェンセス

ブラジル北東部に位置する真っ白な大砂丘、レンソイス・マランニェンセス。レンソイスとは、ポルトガル語でシートスの意味。面積は四国とほぼ同じといわれています。雨季の時だけブルーやエメラルドグリーン色の湖が忽然と現れ、真っ白な砂丘との対比が実に神秘的です。乾季には砂丘だけとなり、生物が存在しえない過酷な自然環境に見えますが、湖の出現とともに魚やカエルも降ってわいたように出現するという不思議な光景が眼前に広がります。



モケッカ

ブラジル料理といえば、牛肉のいろいろな部位を串に刺して焼き、切り分けてくれるシュラスコ料理が有名ですが、郷土料理モケッカもおすすめです。水を一切使わず、パーム油とココナッツミルクをベースとした白身魚のブイヤベース風の煮込み料理です。海老や貝なども入れ、魚介類のダシが効いた濃厚な味は、主食のお米との相性も抜群。カイピリーニャと呼ばれるカクテル(サトウキビの蒸留酒を砂糖とたっぷりのライムで割ったもの)と一緒に舌鼓を打つのもおすすめです。





技術の卵を大切にする三菱UFJ技術育成財団



財団法人三菱UFJ技術育成財団は、日本の社会・経済発展において欠くことのできない技術力のある中小企業の育成をめざし、新技術・新製品の研究開発を支援するために、助成金の交付やコンサルティングの提供などを行っています。

平成22年度第1回研究開発助成金の公募には68件の申し込みがあり、その中から将来有望で、かつ社会性も高い5件のプロジェクトを選定し、平成22年9月に助成金の贈呈式を行いました。これにより、昭和58年の財団設立以来、助成金の受付総件数は3,488件、交付総件数は264件となりました。

引き続き環境問題の改善に資するプロジェクトや産学官連携プロジェクトを支援していくことで、次世代を担う技術力のある中小企業の育成をお手伝いしていきます。



スペシャルオリンピックス日本へ協賛



三菱東京UFJ銀行と三菱UFJ信託銀行は、知的発達障がいのある方たちにさまざまなスポーツトレーニングの場やその成果を発表する競技会を提供し、社会参加を応援しているNPO法人スペシャルオリンピックス日本に協賛しています。

その一環として、平成19年より、同法人の主催するバスケットボール競技会へ社員がボランティアとして参加し、審判など運営のお手伝いをしています。平成22年6月に開催された大会でも、三菱UFJ信託銀行のバスケットボール部員を中心とした社員が参加し、選手の方々と交流を深めました。



✓ 将来を担う若い人材育成への貢献を通じて 国際相互理解を促進



公益財団法人三菱UFJ国際財団は、日本と世界各国、特にアジア諸国との国際親善および世界平和の推進に寄与することをめざし、将来を担う若い世代の人材育成事業や相互理解を深めるための国際交流事業を行っています。

人材育成事業では、日本で学ぶアジア諸国からの留学生に奨学金を支給するとともに、日本の社会・文化との交流をお手伝いしています。平成22年10月には、留学生が三菱東京UFJ銀行の社員と埼玉県ながらろの長瀬町を訪れ、国の名勝・天然記念物に指定されている長瀬岩畳を見ながらの川くだりやうどん打ちなどを体験しました。

また、昭和58年以来9,000名にのぼるアジア諸国の大学生への奨学金支給や日本と海外との学生会議、海外における日本語教育支援事業などへの助成も行っています。



(上)うどん打ちに挑戦
(左)川くだり

「CSRレポート2010」を発行

平成22年9月、MUFGグループは、「CSRレポート2010」を発行しました。本誌では、MUFGグループのCSR(企業の社会的責任)に対する考え方や具体的な活動をご紹介します。

ハイライト版と詳細版の2分冊からなり、いずれもMUFGのホームページに掲載しています。ハイライト版は、冊子としても発行しており、お近くの三菱東京UFJ銀行や三菱UFJ信託銀行の窓口で無料配布しています。また、今年度から動画版も作成し、MUFGのホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。



URL <http://www.mufg.jp/csr/csreport/>

平成22年8月、東京で株主さま向けセミナーを開催しました。

本セミナーに多数のご応募をいただき、誠にありがとうございました。抽選によりご招待した株主さま160名にご来場いただきました。

当日は、三菱東京UFJ銀行金融市場部亀井シニアアナリストによる為替相場セミナーの後、同行ディーリングルームを見学していただきました。セミナーでは、「グローバル経済とマーケット動向」と題して、世界経済の現状や円高ドル安となった背景などについて解説。為替動向に注目が集まるなかでの開催となったこともあり、講演後の質疑応答では、今後の円高対策や新興国通貨の動向など、多数のご質問が寄せられました。

セミナー終了後のアンケートでは、「為替に関する最新情報を聞くことができ良かった」「ディーリングルーム見学は通常体験できないので貴重だった」などのご評価をいただきました。

アンケートなどでいただいたご意見を参考に、今後も株主の皆さまを対象としたセミナーの充実を図ってまいります。

なお、次回は平成23年3月に東京・大阪・名古屋にて株主さま向けセミナーを開催する予定です。詳細につきましては、次頁の「開催概要」をご覧ください。



ディーリングルーム見学




為替相場セミナー

MUFG 株主セミナー開催のお知らせ

日頃ご支援いただいております株主の皆さまを対象に、株主セミナーを開催いたします。皆さまのご応募を心よりお待ちしております。

開催概要

開催日時	【東京】(東京都千代田区) 平成23年3月14日(月) 13:30～15:00頃
	【大阪】(大阪府大阪市中央区) 平成23年3月17日(木) 13:30～15:00頃
	【名古屋】(愛知県名古屋市中区) 平成23年3月18日(金) 13:30～15:00頃
内容	テーマ:「内外の経済・金融を展望する」(仮題) 講師:三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 執行役員調査部長 五十嵐 敬喜 氏
	
募集対象者	平成22年9月末時点で当社株式を100株以上お持ちの株主さま (ご同伴者1名さままで可)
募集人数	【東京】250名 【大阪】150名 【名古屋】100名
参加費	無料

応募要領

応募方法 同封の「MUFG 株主セミナー参加申込書」に必要事項をご記入の上、ご投函ください。

締め切り 平成23年1月18日(火)消印有効

記入要領

- ご希望日を選択してください(いずれか一つをお選びください)。
- 株主さまのご住所、お名前、株主番号(「配当金領収証」または「配当金計算書」の住所氏名欄の下段8桁の番号)をご記入ください。
- ご同伴者さまがいらっしゃる場合は、その方のご住所、お名前をご記入ください。
- 個人情報保護シールをはがし、折り曲げてしっかりと貼り付けてご投函ください。

応募多数の場合、抽選といたしますのであらかじめご了承ください。

厳正な抽選の上、当選された株主さまには平成23年2月中旬にご招待状をお送りいたします。

◎ご注意◎

- 当日の受付時刻および集合場所などの詳細につきましては、当選された株主さまに別途ご案内いたします。
- 開催場所までの往復の交通費は各自でご負担いただけます。
- 応募時に必要事項の記入漏れがあった場合には、無効となる場合がございます。
- やむを得ない理由で中止や内容変更となる場合がございます。

お問い合わせ先: 株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

電話: 03(3240)8111(代)

「ご優待サービスご利用ガイド 2011」の送付について

平成22年9月30日時点の当社株主名簿に100株以上お持ちと記載された株主の皆さまを対象に、「ご優待サービスご利用ガイド2011」を、**12月15日以降**、年末までにお届けする予定です。

「ご優待サービスご利用ガイド 2011」には、「オリジナルグッズお申し込み専用ハガキ」「ご優待クーポン券*」を同封していますので、ご確認をお願いいたします。

*「ご優待クーポン券」は500株以上お持ちの株主さまを対象にお送りします。

優待制度の詳細につきましては、当社ホームページでもご紹介しています。ぜひご覧ください。

<http://www.mufg.jp/investors/programs/>



ご優待クーポン券



個人株主さま用

法人株主さま用

2011年ピーターラビット™ オリジナルグッズ例

オリジナルバス&フェイスタオルセット



オリジナルトートバッグ&折りたたみ傘



BEATRIX POTTER™ and PETER RABBIT™ © Frederick Warne & Co. Licensed by © Copyrights Asia
www.peterrabbit.co.jp

ホームページリニューアルのご紹介

MUFGのホームページでは、株主・投資家の皆さま向けに最新のニュースリリースや財務情報、株主優待情報などを掲載しています。

平成22年9月には、個人投資家の皆さま向けページに「MUFGはじめてナビ」を新設いたしました。MUFGグループの概要や強みなどをわかりやすくご紹介していますので、ぜひご覧ください。

■「個人投資家の皆さまへ」トップページ <http://www.muftg.jp/investors/>



MUFGってどんな会社？

MUFGはじめてナビ

Q MUFGってどんな会社？

三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、三菱UFJ証券ホールディングスの株を保有する「持株会社」です。
 「MUFG」は、「三菱UFJフィナンシャル・グループ」の親文字から取った略称で、証券取引所には、「MUFG」の株式が上場されています。(証券コードNo.8306)

※主な出資関係

2018年4月30日現在

※詳しくは「ご関係」をご覧ください

MUFGってどんな会社？	グループ会社にはどんな会社があるの？	MUFGの歴史？	MUFGの強み？
MUFGの強み？	MUFGの強み？	MUFGの強み？	MUFGの強み？
MUFGの強み？	MUFGの強み？	MUFGの強み？	MUFGの強み？
MUFGの強み？	MUFGの強み？	MUFGの強み？	MUFGの強み？

MUFGの歴史は？

MUFGはじめてナビ

Q MUFGの歴史は？

MUFGグループは、2005年10月、三菱東京フィナンシャル・グループとUFJグループの経営統合により誕生しました。以来、グループ統合力の強化に努めています。

2005年10月 MUFGグループ誕生

※上記スライドショーは自動的に切り替わります
 ※詳しくは「ご関係」をご覧ください

MUFGってどんな会社？	グループ会社にはどんな会社があるの？	MUFGの歴史？	MUFGの強み？
MUFGの強み？	MUFGの強み？	MUFGの強み？	MUFGの強み？
MUFGの強み？	MUFGの強み？	MUFGの強み？	MUFGの強み？
MUFGの強み？	MUFGの強み？	MUFGの強み？	MUFGの強み？

MUFGの強みは？

MUFGはじめてナビ

Q 強みはありますか？

個人口座数は約4千万口座、お取引先企業数は約50万社など、強固な顧客基盤を有しています。
 国内現金預金高・貸出金預金では、他の金融グループを大きく上回っています。

※国内現金預金高*

現金預金	1-3月個人現金預金
MUFG	107.5
みずほFG	63.0
三井住友FG	55.6
三井住友FG	53.0
三井住友FG	57.5

※連結貸出金預金

貸出金	1-3月個人現金預金
MUFG	84.8
みずほFG	62.1
三井住友FG	62.7

※注）国内現金預金高・貸出金預金高は、三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、三菱UFJ証券ホールディングスの連結数値です。
 *国内現金預金高は、2022年3月31日現在、1-3月累計値です。
 **国内現金預金高・貸出金預金高は、2022年3月31日現在、1-3月累計値です。

MUFGってどんな会社？	グループ会社にはどんな会社があるの？	MUFGの歴史？	MUFGの強み？
MUFGの強み？	MUFGの強み？	MUFGの強み？	MUFGの強み？
MUFGの強み？	MUFGの強み？	MUFGの強み？	MUFGの強み？
MUFGの強み？	MUFGの強み？	MUFGの強み？	MUFGの強み？

取締役・監査役／株式事務のご案内

取締役・監査役（平成22年10月1日現在）

取締役（代表取締役）	おきはら たかむね 沖原 隆宗	取締役	おおもり きょうた 大森 京太	取締役*	わたなべ かずひろ 渡邊 一弘
取締役（代表取締役）	おかうち きんや 岡内 欣也	取締役	あきくさ ふゆゆき 秋草 史幸	取締役*	おおとし たくま 大蔵 卓麻
取締役（代表取締役）	ながやす かつのり 永易 克典	取締役	たけうち かずお 竹内 和男	常勤監査役	やすだ しょうた 安田 正太
取締役（代表取締役）	ひらの のぶゆき 平野 信行	取締役	てらおか しんすけ 寺岡 俊介	常勤監査役	まえだ つとむ 前田 哲男
専務取締役（代表取締役）	さいとう ひろし 斎藤 広志	取締役	わち かおる 和地 薫	監査役**	たがすか つとむ 高須賀 翫
専務取締役（代表取締役）	かめい のぶしげ 亀井 信重	取締役	おやまだ たかし 小山田 隆	監査役**	おかもと くへい 岡本 園衛
常務取締役（代表取締役）	はせがわ まさお 長谷川 理雄	取締役*	あらき りゅうじ 荒木 隆司	監査役**	いけだ やすし 池田 靖

* 荒木 隆司、渡邊 一弘、大蔵 卓麻の各氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。

** 高須賀 翫、岡本 園衛、池田 靖の各氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

株式事務のご案内

定時株主総会基準日	3月31日	
定時株主総会	6月下旬	
配当金受領株主確定日	期末配当金 3月31日／中間配当金 9月30日	
公告掲載方法	当社の公告は電子公告により行っております。 電子公告掲載 URL : http://www.mufig.jp/ ただし、やむを得ない事由により、電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。	
上場証券取引所	東京、大阪、名古屋、ニューヨークの各証券取引所	
株式事務取扱場所	株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
	事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
	お問い合わせ先・ 郵便物送付先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話：0120-232-711 (通話料無料) (受付時間 土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)

■ 株式に関するお手続き

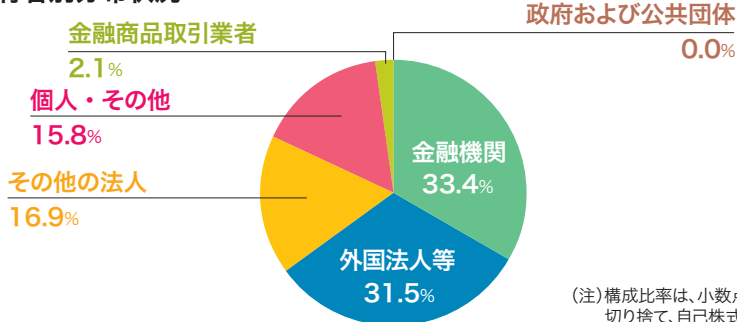
住所・氏名など届出事項の変更、配当金振込先の指定、買取請求その他各種お手続き	<ul style="list-style-type: none"> 証券会社の口座に当社株式が記録されている株主さま 口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ります。 特別口座に当社株式が記録されている株主さま 上記三菱UFJ信託銀行にお問い合わせ願います。
未受領配当金の支払	三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いします。

(注) 「特別口座」とは、株券電子化実施までに証券会社等を通じて証券保管振替機構に預託されなかった株式について、平成21年1月の株券電子化制度への移行時に、株主の権利を確保するため、特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)に株主名簿上の株主名義で開設された口座です。

株式の状況(普通株式) (平成22年9月30日現在)

■ 株式の状況	発行済株式の総数	14,150,766,520 株
	株主数	787,365 名

■ 所有者別分布状況



■ 大株主

	持株数(株)	持株比率(%)
1 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	897,905,600	6.34
2 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	676,788,100	4.78
3 日本生命保険相互会社	285,603,153	2.01
4 ザ バンク オブ ニューヨーク メロン アズ デポジタリー バンク フォー デポジタリー レシード ホルダーズ	277,662,912	1.96
5 SSBT OD05 OMNIBUS ACCOUNT - TREATY CLIENTS	236,557,950	1.67
6 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	227,505,100	1.60
7 ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	212,941,148	1.50
8 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (明治安田生命保険相互会社・退職給付信託口)	175,000,000	1.23
9 トヨタ自動車株式会社	149,263,153	1.05
10 ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウント	147,707,306	1.04
合計	3,286,934,422	23.22
発行済株式総数	14,150,766,520	100.00

(注) 1. 持株比率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

2. ザ バンク オブ ニューヨーク メロン アズ デポジタリー バンク フォー デポジタリー レシード ホルダーズは、ADR(米国預託証券)発行のために預託された株式の名義人であります。

グループメッセージについて

MUFGグループは「Quality for You」を
グループメッセージとして、
お客さまとのさまざまな
コミュニケーションの場で展開していきます。

Quality for You

このメッセージには、
「『質』の高いサービスのご提供を通じて、
お客さま一人ひとりの生活や一社一社の事業の
『質』の向上をお手伝いしたい。
そして、こうした活動を通じて
地域・社会の発展に貢献していきたい」
という私たちの想いを込めています。

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

〒100-8330 東京都千代田区丸の内2-7-1

電話03(3240)8111(代表)

URL:<http://www.mufg.jp/>

株式に関するお手続きについてご不明な点などがございましたら、
以下の株主名簿管理人の連絡先にお問い合わせください。
三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部テレホンセンター
電話:0120-232-711(通話料無料)
(受付時間 土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)

平成22年12月発行

本誌はFSC認証紙、植物油インキを使用しています。

